

## 会 議 録

会議の名称	平成23年度 第4回 地域保健計画推進部会				
開催日時	平成23年12月6日(火) 午後7時～午後9時				
開催場所	いきいきプラザ2階 学習室				
出席者 及び欠席者	<p>(委員) 11名 西願久美子委員・橋本健一委員・杉本美恵子委員・桐生宏司委員 新井幸子委員・千木良美代子委員・濱田勲委員・五野井三千代委員 佐藤淳一委員・木村雅亮委員・目黒英雄委員</p> <p>(事務局) 12名 田中健康福祉部次長 〔健康課〕中島課長 地域保健第1係 … 菅野係長・久原保健師・古屋保健師 地域保健第2係 … 原子課長補佐・中島管理栄養士 原田主任 庶務係 … 清水係長 〔地域福祉推進課〕和田課長・新井主査</p> <p>(オブザーバー) 2名 村岡正英氏、山根美紀氏 (株式会社アイ・アール・エス)</p> <p>(欠席者) 5名 小杉眞紗人委員・福田博元委員・丹治勝委員・江口登委員 鈴木克也委員</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	0名
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 報告 (1) 第27回市民健康のつどい実施報告 (2) 東村山市保健福祉協議会(第2回)報告</p> <p>4. 議題 (1) 「健康ひがしむらやま21」分野別策定(案)について (2) 「地域保健計画」(案)について (3) 地域福祉計画策定スケジュールについて (4) その他</p> <p>5. 閉会</p>				
問い合わせ先	<p>健康福祉部健康課 地域保健第1係・第2係 担当者 菅野・原田 電 話 042(393)5111(代)(内線3216・3218) ファクス 042(394)7399(健康課直通)</p>				

## 会 議 経 過

### 1. 開会（菅野係長）

### 2. 挨拶（田中健康福祉部次長）

事前配布資料・追加資料についての確認・説明および部会委員出席状況の確認（菅野係長）

#### 【事前配布資料】

資料1 「健康ひがしむらやま21」分野別策定（案）  
製本用（資料5 保健福祉協議会）地域保健計画（案）

#### 【追加資料】

○第27回市民健康のつどい実績報告  
○修正後 地域保健計画（案）  
○地域福祉計画策定スケジュール

小杉部会長欠席のため、東村山市保健福祉協議会設置規則（平成13年4月16日規則第33号）第5条4項および第8条5項に基づき、濱田副部会長が議事進行

### 3. 報告

#### （1）第27回市民健康のつどい実施報告

資料「第27回市民健康のつどい実績報告」参照

【事務局】11月12日（土曜）、13日（日曜）の2日間に第27回東村山市市民健康のつどいを開催。第50回産業まつりと同時に開催。来場者数は12日が2,124人、13日が2,116人で合計4,240人であった。

天候に恵まれ、多くの来場者を迎えた。

保健推進員会主催の骨密度測定をはじめとして、数々のイベントを行った

12月1日（木曜）に平成23年度第4回の健康のつどい実行委員会を開催し、感想・反省等を取りまとめた。

今回資料として提示したアンケートについても、資料として活用いただきたい。

（来場者に対し）健康についての意識づけができたと考えている。

【委員】（自分も来場し）骨密度測定をはじめて受けてみた。

結果が境界値であったが、担当者の説明がいま一つであった。

【事務局】結果説明については事前に（やり方の）レクチャーをしているが不足があったと考える。

## (2) 東村山市保健福祉協議会（第2回）報告

- 【事務局】 12月2日（金曜）に第2回の保健福祉協議会を開催。各部会で検討いただいた計画の進捗について説明。なお、「健康ひがしむらやま21」は部会で検討中として、今回の協議会では示していない。協議会からは（計画案について）特段の修正要望はなかったがどこがポイントなのか、強調している点なのかについては質問が出された。また、地域福祉計画の今後の策定スケジュールについても協議会に提示し、了承を得ている。
- これに引き続いて、追加資料「地域福祉計画策定スケジュール」に基づき今回の議題のうち（3）「地域福祉計画策定スケジュールについて」を説明。

## 4. 議題

### (1) 「健康ひがしむらやま21」分野別策定（案）について

- 【委員】 いまのスケジュール説明にもあったとおり、来年2月が今年度最後の部会となるため、今回の会合で素案をまとめることとなる。「健康ひがしむらやま21」を中心にまとめることとなる。忌憚のない意見をお願いしたい。
- 【事務局】 「健康ひがしむらやま21」については、第3回の部会で構成を説明したところである。地域保健計画とも整合性をもって作成している。取り組むべき分野を具体化したもので、7つの分野からなっている。変更点としては、たばことアルコールを合体させて一つの分野としたこと、また、生活習慣病の分野から「高血圧・循環器病」と「がん対策」の分野を分離したことがあげられる。

各分野とも共通のつくりかたとなっている。

→ 各分野について現状を説明

#### 【栄養・食生活】

「数値目標」「現状」「施策の方向」「目標に向けた取り組み」について読み上げ・説明。

- ・市が健康教育等で普及啓発していかねばならない。
- ・栄養相談で個別のフォローを行っていく。
- ・庁内の連携を図っていく。

#### 【身体活動・運動】

「現状」「目標に向けた取り組み」について読み上げ・説明。

#### 【休養・こころの健康】

「現状」について読み上げ・説明。

- 【委員】ここで区切って、意見交換をしていきたい。  
まず、2ページから12ページまでについて意見をお出しいただきたい。
- 【委員】2ページの(2)「疾病の動向」の7行目に「これらの検診の啓発をすすめ」とあるが、「啓発」より「普及」ではないか。  
もっと(健診を)受けてほしいという意図があるなら「普及」とすべき。  
また、11行目には「特定保健指導を利用していけるよう図っていく」とあるが、これはどういうことか。  
(保健指導を)受けたくてもできない状況があるということか。  
それとも受けにこないということか。
- 【事務局】(保健指導を)受けさせたい、ということです。
- 【委員】(保健指導を)市がうまく(対象者に)利用させられないということではなく、受けに来ないということなのですか。
- 【事務局】そうである。
- 【委員】(今の箇所は)「普及」「啓発」と2つ入れてみてはどうか。
- 【委員】6ページの【数値目標】であるが、平成16年度の「ベースライン」値とは。
- 【事務局】第3次地域福祉計画を策定する時に基礎としたデータである。  
当時分かっている最新の値として出した。
- 【委員】(平成16年度の)実績値、ということか。だとしたら、平成22年度は悪化している数値もあるということか。
- 【事務局】そういうところもある。
- 【委員】7ページの2行目に「前回調査時より」とあるが、「前回」とはいつのことか。
- 【事務局】平成16年度をさしている。  
(平成16年度なのか平成22年度なのか)ここは具体的な数値を入れた方がいいと考える。
- 【委員】「ベースライン値」というより「実績値」という言い方でよいのではないか。
- 【委員】(6ページの【数値目標】の主要目標中、適正体重について)実績値が2つあるが、基準が異なるのか。
- 【事務局】(東村山市地域福祉計画基礎調査に関して)市でとっているのは、18歳から64歳のデータである。  
(保健所で実施している住民の健康意識調査に関して)年齢が定かではない。若い人も(調査対象に)含めている。(保健所管内で行っていることから)母集団が多いのも確かである。
- 【委員】今の説明だと、そんなに差がでないはずである。  
なぜ差がでるのか。東村山はこんなに(結果が)悪い。
- 【事務局】精査したい。母集団の問題であろうか。
- 【委員】(2つの調査結果のうち)上の星印は(多摩小平)保健所で行っている意識調査である。  
2つの調査はアンケートの様式や文言に差があるため、比較するのは無理ではないか、と考える。
- 【委員】ならば、どちらかをカットした方がいい。誤解を招くだけでは。

- 【事務局】(地域福祉計画基礎調査はに関して)平成16年度のデータがない。
- 【委員】平成16年度は空欄とし、平成22年度のみ入っていればよいのでは。
- 【委員】値の間に点線を入れて区切ってみるのはどうか。
- 【委員】(平成22年度の地域福祉計画基礎調査の実績値である)17.4%(という値)を活用したいのであれば、別枠でコメントをつけないと理解できない。
- 上の星印については結果を比較できる。下の星印については(数値を)出しておいて今後の課題としてはどうか。
- パーセンテージの説明がないと、今のような議論になってしまうのではないか。
- 【委員】この件については、次回までに事務局に調査していただくこととしたい。
- 【委員】(同じく【数値目標】で)目標を「増やす」「増やす」という文言が並んでいるが、文言としては同じものなので力のいれどころを、強調点を示した方がよいのでは。
- 【事務局】数量(や数値)の根拠が出てこない、という問題がある。
- 実績値は100%にならないければ、或いはそれに限りなく近づかねばいけない。平成16年度から平成22年度で増えていても「まだ足りない」となってしまう。そのため、具体的な数値目標を示すことはできないと考える。
- (実績値は)あくまでも参考値として示すのであれば特に問題ないと考えている。
- 【委員】(「目標に向けた取り組み」の箇所で「市ができること」とあるが)「市ができること」というと、市はこれ以上できませんと言われているように聞こえなくもない。
- この部分の表現をどうするか。
- また「市民にできること」というのも、「個人がすすんでできること」のような言い回しではどうか。
- 【委員】書き方に決まりはあるものなのか。
- 【事務局】特にありません。
- 【委員】この部分は「自助、公助、協助」という考え方を分かりやすく表現しているのでは。
- 【委員】市民「が」できること、という言い方ではどうか。
- 【事務局】「市が行うこと」という、姿勢を示す表現はどうか。
- 【事務局】この部分の表現については、事務局一任としていただきたい。
- 【委員】続いて、13ページから15ページについて意見をいただきたい。
- 【委員】【現状】の<まとめ>の部分に「ベースライン値」とあるが、もっと具体的に言ってもらったほうがいい。
- 【委員】次に「たばこ・アルコール」の所から説明をお願いしたい。
- 【事務局】説明いたします。

【たばこ・アルコール】

「現状」「目標に向けた取り組み」を読み上げ・説明。

### 【歯とお口の健康】

「現状」「目標に向けた取り組み」を読み上げ・説明。

- 【委員】今の部分について質問、意見ををお願いしたい。  
歯槽膿漏と歯周病の違いについて教えてほしい。
- 【委員】以前は「歯槽膿漏」と言っていたが、同じものである。
- 【委員】20ページの【施策の目標】に「う蝕（うしょく）」という表現があるが、このように表現せねばならない理由はあるか。
- 【委員】分かりやすい言い方でいいのではないか。
- 【事務局】「むし歯」でよいのでは。  
また、そのすぐ下に「歯の喪失防止」とあるが、意味がすぐにとおると感じられるか。
- 【委員】「いつまでも自分の歯で何でも食べられるように」という表現はどうか。
- 【事務局】この部分を変更すると施策の方向の表記も変わるので、その旨ご承知おきいただきたい。
- 【事務局】「いつまでも自分の歯を残そう」というのはどうか。  
「食べる」という言葉を含むと、咀嚼のことが関連してくるように思う。
- 【委員】歯があるだけでは駄目で、機能しなくては意味がないと考える。  
（この表現については）事務局にお任せする。  
22ページの【施策の方向】の1番「歯と口腔の健康の大切さを知る」の6行目に「歯と口腔の健康が全身の健康と関連することの周知」とあるが、このことを大目標や施策の目標に掲げてほしい。例えば糖尿病など（は、その関係がよく知られているところである）。  
歯周病と全身疾患との関係についてもあげてほしい。
- 【事務局】分野別目標に追加していく。
- 【委員】地域保健計画の9ページの歯周病予防啓発の展開方向として「歯科口腔保健の推進に関する法律」を「いい歯東京」の前に入れてほしい
- 【事務局】今回、可決された法律は健康増進法と同じように国としての方向性を示したものであると認識している。  
「健康日本21」のような具体的な数値が示されていない。  
東京都の「いい歯東京」では具体的な数値目標があげられている（ことから、ここに示しているものである）。
- 【委員】歯と口腔の健康が全身の健康と関連していることを知らない人は多い。（委員からのご意見のとおり扱いをして）よいのでは。
- 【委員】日本糖尿病協会と日本医師会が連携をとり始めている。  
前向きに検討いただきたい。
- 【委員】高血圧と循環器病について、また、がん予防対策について説明をいただきたい。
- 【事務局】説明いたします。

### 【高血圧・循環器病対策】

「現状」「目標に向けた取り組み」を読み上げ・説明。

【がん予防対策】

「現状」「目標に向けた取り組み」を読み上げ・説明。

- 【委員】 24ページの【数値目標】の主要目標中、HDL、LDLコレステロールの値について。）LDL（を例にとれば）、120ではなく139ではないか。
- 【事務局】（120というのは）保健指導の判定値である。指導をしなければいけない基準値としてご理解をいただきたい。市で決めているのではなく、国が示す指数である。
- 【委員】 健診時には（LDLが）120ならば全然問題ないが、139では駄目なのか。
- 【事務局】 139を超えたら全部が高血圧というのではない。単純にこの数値のみで判断しなくてもよい。非常に厳しい数値（基準）である（ことは確か）。
- 【委員】 今は（基準値が）かなり厳しくなっている。（例えば血圧にしても）昔は（上が）140、（下が）90であればよかった。
- 【委員】 基準を下げたら、多くの人（保健指導の対象に）該当してしまっただということか。
- 【事務局】 そのとおりである。
- 【委員】（同じ箇所の）「未満」「以上」という表現についても、素直に読むと「（この数値を）越えなければいけないのか」と思ってしまう。
- 【事務局】 「主要目標」でなく「主要項目」としてはどうか。また、（ここには具体的な数値基準が示されているが、その）数値はこのまま掲載しておいていいか。「ベースライン」という言葉も「実績」でよいのでは。
- 【委員】 「ベースライン」という言葉を使う以上、その意味を書きおいた方がいいのでは。
- 【委員】 24ページ（の**大目標**）に「早期に発見し、早期に治療する」とあるが、医師の診察を早く受けなさいという印象を受ける。
- 【事務局】 「治療」でなく「改善」「対応」という文言も考えられるが。
- 【委員】 治療に至る前に、生活習慣を直すべきなのであるが。
- 【委員】 2ページに（健康ひがしむらやま21の）策定背景と目的があるが、その中で一次予防の推進をうたっていることからすると、予防に重点を置くべきかとも思う。策定委員会の先生方にお任せした方がいいのかもしれない。
- 【委員】 「まずは生活習慣病（の予防）で対処を、それでどうしても駄目なら医師の診察を受けて下さい」という文言にすべきでは。
- 【事務局】 「改善する」という表現がやわらかいのでは。
- 【委員】 生活習慣「病」とあるから、「治療」と出てくるのであろうか。
- 【委員】 「治療」にこだわらなくていいのでは。
- 【事務局】 では「改善」としてよいか。
- 【委員】 そのようにお願いしたい。
- 【委員】 全体的なことについて（意見を述べたい）。「健康ひがしむらやま21」は、中身としてはいい。

役割分担のことで尋ねたいのだが、今の健康福祉部の体制では相当本腰を入れないと、冊子にまとめただけというものになりかねない。また、継続した予算の裏付けをしてもらわないと意味がないと思う。

各団体との連携が一つでも欠けたらうまく機能しないように思うが、いかがか。

【事務局】 予算的裏付けについては、市としても認識している。予算要求は引き続いて行っていきたい。

【事務局】 市民への周知については、ガイド版の作成を予定している。市民が（それを見た時に）勉強になるものになりたい。市内世帯への全戸配布を予定している。今後も引き続き、おりにつけて各種データ等を提示しながら部会を開催していく。

【委員】（示された資料から）現状は分かるが、（一步踏み込んで）なぜそうなるのかという原因が示されていない。理念ともつながっているとは思いますが、原因がどこにあるのかを示すのが行政の役割だと思う。

【事務局】 健康ひがしむらやま21は、健康増進法、健康日本21、東京都の健康推進プランと整合をとりながら作成している。ここでの原因究明は難しいと思う。

地域保健計画（案）については、誤字脱字の修正、議論のあるところについて12月13日（火曜）までに電話、文書、ファクスで連絡いただきたい。

次回の策定委員会は12月22日（木曜）なので、20日（火曜）までにご意見をいただきたい。

【委員】 今回議論した案については、（とりまとめを）事務局一任といたしたい。

【事務局】（次回部会の開催については2月を予定しているが、開催は）1ヶ月前に周知したい。

## （2）「地域保健計画」（案）について

資料「修正後 地域保健計画（案）」参照

【委員】 地域保健計画（案）についてであるが、8月に「歯科口腔保健の推進に関する法律」が成立した。

そのことに関し、9ページに（3）として「歯の健康の推進」とあるが、展開方向に「東京都『いい歯東京』を踏まえて推進していきます」とあるところに、（今回成立した）この法律に基づいて推進していくということもうたってほしいということ、また、展開方向として「歯の健康が全身の健康に影響をしている」ことも（追加で）入れてほしい。

【委員】 他にもこういった性質の法律というのは存在するのか。

【委員】 がん対策基本法などがそうである。

【委員】 括弧書きで入れるというのはいかがか。



【事務局】趣旨としては各法律とも（記載することに）問題はないが、具体的な数値が示されていないことについては検討の余地がある。

【委員】全体的なバランスもあるので、事務局で整合性を取りながら作成を進めていただきたい。

### （3）地域福祉計画策定スケジュールについて

報告（2）東村山市保健福祉協議会（第2回）報告において、資料「地域福祉計画の策定スケジュール」に基づき説明。

### （4）その他

特になし

## 5. 閉会